

春

春の園内は花盛り。一年で一番花が多いこの季節は、色とりどりの花を楽しめます。木々の葉も開き新緑も眩しい園内を散策してください。



正門入口の正面東屋の藤棚フジ棚



フジ

5月上旬頃、花が咲きます。藤棚の下のベンチに座り花を楽しむこともできます。



ハナノキ

カエデの仲間で、花が美しいことから別名ハナカエデといいます。動物園（本園）にある資料館が建てられた1942（昭和17）年に建物の横に植えられ、現在は2階の屋根より高くなっています。3月中旬頃に開花します。

資料館前のホオノキは園内で一番太い木です。白く大きい花は香りがあり5月に開花します。一つの花の寿命は2～5日程度と短いのですが、1本の木が少しづつ順々に花を咲かせるため約1ヶ月の間花をご覧いただけます。



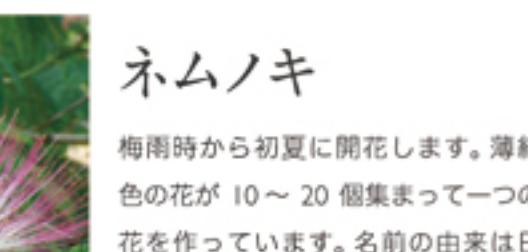
ホオノキ

動物園（本園）で見られる大きな松の多くは、100年以上経っているといわれています。一部の木には、太平洋戦争中に戦闘機の燃料にするため、松脂を採取した傷跡が残っています。



メタセコイア

メタセコイアは1945（昭和20）年に中国四川省で発見された植物です。1950年（昭和25）年にアメリカから日本に100本の苗が寄贈され、国内各地に配られ生育調査を依頼されました。その中の1本が資料館前のメタセコイアです。



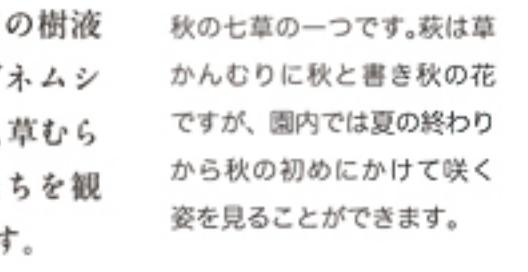
ネムノキ

梅雨時から初夏に開花します。薄紅色の花が10～20個集まって一つの花を作っています。名前の由来は日が落ちてから葉を閉じる就眠運動からています。



ハギ

秋の七草の一つです。萩は草かんむりに秋と書き秋の花ですが、園内では夏の終わりから秋の初めにかけて咲く姿を見ることができます。



キンモクセイ

花の香りが良く、クチナシ、ジンチョウゲ、と並び「三香木」の一つとされています。



イチョウとイロハモジ



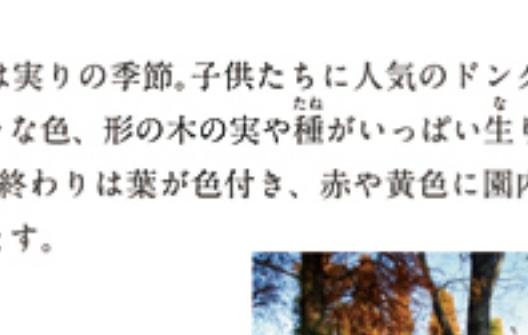
イチョウとイロハモジ



紅葉

園内の紅葉は11月中旬から12月上旬にかけてが見頃となります。

トウカエデ



ラクウショウ



ラクウショウ



雪吊り・霜除け



雪吊り・霜除け



冬の園内は冬木立。園内では木々の葉が落ち冬景色になります。ケヤキやメタセコイア、ラクウショウなど大木たちの本來の美しい樹形をみることができます。枝先の冬芽は寒さを防ぎ春への準備をしています。



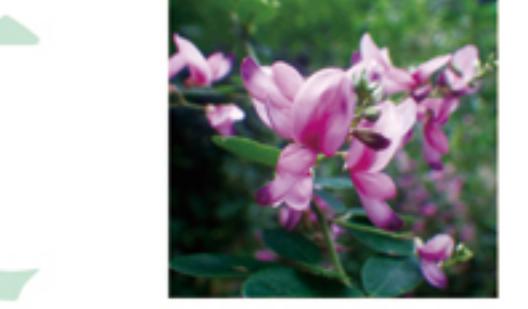
冬



夏

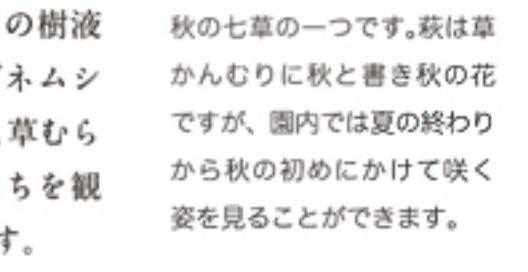
夏の園内は虫の活動時期。

クスギやコナラなどの樹液にカブトムシやコガネムシの仲間が集まります。草むらではバッタの仲間たちを観察することもできます。



ハギ

秋の七草の一つです。萩は草かんむりに秋と書き秋の花ですが、園内では夏の終わりから秋の初めにかけて咲く姿を見ることができます。



キンモクセイ

花の香りが良く、クチナシ、ジンチョウゲ、と並び「三香木」の一つとされています。



紅葉

園内の紅葉は11月中旬から12月上旬にかけてが見頃となります。

トウカエデ



動物の食べ物

園内の植物の一部は動物のエサとしても使われています。剪定作業で出た枝は草食獣のエサに、切り株は動物舎の装飾や遊具になります。



園内の植物の一部は動物のエサとしても使われています。剪定作業で出た枝は草食獣のエサに、切り株は動物舎の装飾や遊具になります。



植物と野鳥

秋から冬にかけ、木の実を食べに来る鳥たちの様子を観察することができます。



秋から冬にかけ、木の実を食べに来る鳥たちの様子を観察することができます。



秋から冬にかけ、木の実を食べに来る鳥たちの様子を観察することができます。



秋から冬にかけ、木の実を食べに来る鳥たちの様子を観察することができます。



秋から冬にかけ、木の実を食べに来る鳥たちの様子を観察することができます。